

平成30年度 第7回成田市五十雀リーグ戦(遠藤・アクセス杯)

- 主催： 成田市サッカー協会
- 会場： 中台球技場、栄グラウンド、芝山グラウンド
- 事務局： NFCシャドーズ
- 期間： ①11/25 ②12/16 ③12/2 ④1/13 ⑤3/3
- 参加資格： 成田市サッカー協会5種部会に加盟するチームで、満45歳（アンダー枠含む）以上の選手で構成するチーム。※アンダー枠：45歳以上でピッチ内2人以内

■大会経緯 H13（2001）年度から単発大会形式で始まった五十雀サッカー大会は、H19（2007）年度に1度試験的にリーグ戦化した。参加チーム数の関係もあり翌年から再び単発大会となり、3年後のH21（2010）年度から本格的にリーグ戦化し、開発協会杯として定着した。

シニア年代の要望もあり、H24（2012）年度からは遠藤興業（遠藤氏）がスポンサーとなり、秋に遠藤杯五十雀リーグとして新たに発足した。近年、株式会社アクセス（黒川氏）もスポンサーに加わり、現在の遠藤・アクセス杯となり、これで春と秋に2回リーグ戦が開かれるようになった。勿論、大会後の表彰式もスポンサーありきの豪華景品もあり、大変盛り上がっている。

遠藤・アクセス杯の初回大会優勝はNKで、優勝回数もNKが4回でトップ、NFC1回、公津FC1回となっている。発足当時はNK、日吉台SC、NFC、栄RFCの4チームだった参加チームも、今では7チームとなり、好試合が予想された。

■大会結果 平成最後の五十雀リーグ戦（遠藤・アクセス杯）も、天候に悩まされ全試合消化が3月までずれ込み、リーグ戦の熱戦以上にハラハラさせられましたが、なんとか終了。

成績も、公津FC、NKと酒々井FCの3チームが僅差で争っていましたが、公津FCがNK戦に負けただけ、勝点を積み上げきれず、逆に全試合一度も負けなかった酒々井FCが優勝、同じく全試合負けなしながら勝点が足りずNKは3位に惜しくもとどまりました。



得点王は13点の木村選手（酒々井FC）で、2位には飯田選手（公津FC）、3位には1試合（1日）だけで7点も入れた岸選手（NK）が入った。ただし、最終戦（3月3日）のデータがなく、最終記録としては暫定。

【得点王】

順位	氏名	チーム	①	②	③	④	⑤	合計
1	木村 成一	酒々井	2	2	2	7		13
2	飯田 良次	公津FC	2	1	4	1		8
3	岸 和樹	NK				7		7

【最年長ゴール】

1	新井 真	栄RFC	12/16:NFC戦、1/13:日吉台戦
---	------	------	----------------------

◆遠藤・アクセス杯を初優勝した酒々井FC、攻撃力に優れ23得点はリーグ最多

	公津SC	酒々井SC	日吉台SC	三里塚FC	成田FC	NK	栄RFC	勝点	得点	失点	得失点	順位
公津FC		11月25日 △ 2 - 2	12月16日 ○ 6 - 0	12月2日 ○ 2 - 0	1月13日 ○ 7 - 0	3月3日 ● 0 - 3	11月25日 ○ 1 - 0	13	18	5	13	2
酒々井SC	11月25日 △ 2 - 2		12月2日 ○ 4 - 0	12月16日 ○ 3 - 0	1月13日 ○ 5 - 0	1月13日 △ 4 - 4	3月3日 ○ 5 - 0	14	23	6	17	1
日吉台SC	12月16日 ● 0 - 6	12月2日 ● 0 - 4		11月25日 ○ 3 - 0	3月3日 △ 1 - 1	12月16日 ● 0 - 3	1月13日 ○ 3 - 2	7	7	16	-9	4
三里塚FC	12月2日 ● 0 - 2	12月16日 ● 0 - 3	11月25日 ● 0 - 3		12月2日 ○ 1 - 0	1月13日 ● 3 - 4	3月3日 ○ 3 - 0	6	7	12	-5	5
成田FC	1月13日 ● 0 - 7	1月13日 ● 0 - 5	3月3日 △ 1 - 1	12月2日 ● 0 - 1		11月25日 △ 0 - 0	12月16日 ○ 4 - 1	5	5	15	-10	6
NK	3月3日 ○ 3 - 0	1月13日 △ 4 - 4	12月16日 ○ 3 - 0	1月13日 ○ 4 - 3	11月25日 △ 0 - 0		12月2日 △ 0 - 0	12	14	7	7	3
栄RFC	11月25日 ● 0 - 1	2月10日 ● 0 - 5	1月13日 ● 2 - 3	3月3日 ● 0 - 3	12月16日 ● 1 - 4	12月2日 △ 0 - 0		1	3	16	-13	7